

# 群馬県がん患者団体連絡協議会

## ニュースレター

2009年6月1日 第14号



### ～主な記事～

- ◇ 地域がん懇話会「島根県がんサロン」を手がけた納賀さんが来県し、講演します(7月18日)
- ◇ 母の日キャンペーンに参加して
- ◇ リー通信 「あおぼの会」
- ◇ 掲示板 (6月の行事:がん看護フォーラム)

### がん連協 総会と茶話会を開催します

平成21年7月18日(土)、群馬大学において「群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会」が開催されます。ここでは、島根県で初めてがんサロンを設立し、患者の意見を行政や医療機関に提言、全国の患者会の牽引役としてご活躍の納賀良一さんにがんサロンについて講演をしていただきます。

そして、講演の前にはがん連協の総会を実施し、講演後には納賀さんも一緒にがん連協初めての交流茶話会を行います。どなたでも参加でき、会費は無料です。

よい機会ですので、会員同士の交流や他団体との交流の場として下さい。自由に楽しくおしゃべりしていただくことが目的です。みなさんお誘い合わせの上、懇話会、交流茶話会にご参加下さい。

- がん連協 総会 午後13:00～13:30
- がん診療連携拠点病院地域懇話会 午後13:30～15:15
- がん連協 交流茶話会 午後15:15～16:15



編集・発行/(財)群馬県健康づくり財団





# 母の日キャンペーンに参加して

平成21年5月10日(日)、快晴。気温が30度を超えそうな中、JR高崎駅西口にマンモグラフィ検診車が到着しました。

この日はあけぼの群馬の母の日キャンペーン(乳がん検診受診を全国各地で呼びかけるもの)。これまであけぼの群馬さんは長年にわたりキャンペーンを継続していましたが、平成18年度から健康づくり財団のマンモ車を展示し、道行く人たちに見学をしていただきました。

「今日、検診を受けることはできないのですか？」という声が毎年ありましたが、今年初めて、群馬大学や健康づくり財団医師・技師の協力を得て、あけぼの群馬主催の「母の日キャンペーン・乳がん検診」を実施することができました。



乳がん検診 受付の様子。限られた時間ですがあけぼの群馬に参加されている看護師さんたちのご協力をいただき、順調に検診を進めることができました。

場所柄、約2時間の駐車時間内に準備や片付けも含め、15人の受診者を予め募りました。自覚症状のある方や治療中の方はご遠慮いただきましたが、「ラジオを聴いた」「新聞を見た」という方の事前申し込みと「今からでも間に合いますか？」と声をかけていただき、予定どおり15人の方が乳がん検診を受診されました。費用は自己負担・あけぼの群馬・健康づくり財団からの負担等です。

乳がん検診を実施している間、会員の方は歩行者に乳がん検診受診を呼びかけ、ティッシュや自己検診用のグラブを配布しました。年々、参加される人が多く、にぎやかになっていくことを感じました。

受診を希望される人の中には自覚症状をお持ちの方もいて、会員やその場にいた看護師が早めの医療機関受診を熱心にすすめました。今後、気軽に相談に乗ったり受診をすすめる場も必要かもしれません。

ひとりでも多くの女性が乳がん検診を受診されますように...  
そう思いながらキャンペーン・乳がん検診を終了しました。  
みなさん、お疲れさまでした。(がん連協 事務局)



# リレー通信 各団体の活動



がん連協の各団体リレー通信

第9回目は  
あおばの会  
紹介者は塩原建彦さんです！

## ① あおばの会はいつ作られましたか？

群馬県がん患者団体連絡協議会に加盟申し込みをした平成19年12月6日であります。  
本会は、私が病気入院の時に大変お世話になりました群馬大学附属病院の看護師さんに「あおばの会」と名付けていただき、共に会の立ち上げをしました。

## ② 会の目的はどのようなものですか？

血液のがん(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など)の治療を行った患者・家族及び現在治療を行っている患者・家族が、お互いの治療中、治療後の不安に対しての情報交換と相互の親睦を目的にしております。

## ③ 現在の会員数は？

1ヵ月おきの定例会には、治療経験者・家族及び現在治療中の患者・家族を含めて毎回6~7人の仲間が出席しています。

## ④ 主な活動を教えてください。

定例会を1ヵ月おきに行っております。

場所:群馬大学医学部附属病院内

日時:偶数月(2, 4, 6, 8, 10, 12月)の第1土曜日 13:30~

## ⑤ がん連協のみなさんにメッセージをお願いします。

「あおばの会」は群馬県がん患者団体連絡協議会の中で経験も会員も少ないため今後ともご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



# 掲示板



6月の行事です。  
ぜひご参加下さい。

## 第6回 群馬がん看護フォーラム メインテーマ～がん患者の生活を支えるケア～

日時：平成21年6月6日(土) 13:00～17:00

会場：前橋市総合福祉会館  
前橋市日吉町二丁目17-10

1. 開会 13:00～

2. 特別講演Ⅰ 13:10～14:10

座長 群馬大学医学部保健学科 教授 神田 清子

『生活を見据えた退院支援』

国立がんセンター中央病院 がん看護専門看護師 細矢 美紀

3. 特別講演Ⅱ 14:20～14:50

座長 群馬大学医学部附属病院 看護部長 野本 悦子

『私の患者体験と医療者に期待すること』

ひまわりの会 会長 一柳 一男

(休憩 14:50～15:00)

4. 一般演題 15:00～16:30

第1群 生活を支えるケア

座長：桐生厚生総合病院 看護部長 柳川 寿子

病的骨折のリスクを抱えた患者の外出実現に向けての支援 国立病院機構沼田病院 阿部 美保

高齢者の人工肛門受け入れまでの事例に対する看護支援～アギュレラの危機問題解決モデルを用いて～

群馬大学大学院医学系研究科 角田 明美

大腸全摘・回腸ストーマ造設術後患者の在宅療養に向けての関わり国立病院機構西群馬病院 田中 美奈

外来化学療法を行うがん患者の生活を支えるケア 公立富岡総合病院 金井 幸子

第2群 スピリチュアル・遺族ケア

座長：前橋赤十字病院 看護部長 前田 陽子

がん治療初期からの緩和ケアチーム介入について～受付きがん患者へのスピリチュアルケアの必要性～

利根中央病院 本多昌子

スピリチュアルペインを抱く長期闘病悪性リンパ腫患者への看護支援

～村田理論を用いたスピリチュアルペインに対するアプローチ～ 群馬大学大学院医学系研究科 高橋 裕美

母を看取って 竹澤 陽子

遺族ケアにおける家族単位のライフレビューを通して 前橋協立病院 青木 綾子

5. 閉会 16:30

閉会の挨拶 群馬がん看護研究会 副理事長 二渡 玉江

**参加費：がん看護研究会のご厚意によりがん連協加盟団体のみなさんは参加無料となるそうです。  
当日は患者会会員用受付をお通り下さい。**

お問い合わせ先：前橋市昭和町3-39-15 群馬大学医学部保健学科

群馬がん看護研究会事務局 TEL:027-220-8983 (FAXまたは留守番電話対応)

【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1  
(財)群馬県健康づくり財団 総務部 総務課

電話027-269-7811・FAX027-269-8928

E-mail soumu3@gunma-hf.jp

編集後記

今春は車中からたくさんのお花を観賞しました。梅、桜、ツツジなど本当にきれいでした。

先日、前橋の敷島公園近くを通りかかるとバラ園祭りのせいか、多くの人でにぎわっていました。土曜の朝に敷島に行くとき近くのパン屋さんの香りに誘われ、ついたくさん買ってしまいます。

編集担当 荒木美保

